

概要報告

実施期日	7月29日(火)【午前】
部会名	小学校 体育部会

テーマ 『運動の楽しさを味わい、意欲的・自主的に実践する力を身に付ける 体づくり運動を目指して』

提案概要

滑らかな動きが出来ない、ぎこちない。また、休み時間に体を動かして遊ぶことが少ないという児童の実態をふまえ、次のことを重視した実践をした。

- ① 休み時間にも児童が出来る運動を取り入れる。
- ② 個人でなく複数で出来る運動を取り入れ、友達と協力したり競争したりすることで興味、関心を高める。
- ③ 2年間通しての単元と考え、5年生ではまず様々な運動を経験させ、6年生で発展性をもたせる。
- ④ 毎時間、授業の終わりに個別の学習カードを使い「技能」「態度」「思考・判断」等の自己評価を行う。

この実践によって、長縄跳びを中心に休み時間に外で遊ぶ児童が増えた。また、ゲーム性をもたせることで児童の興味や関心を持続させることが出来たこと、さらに自己評価で動きのポイントを書かせたことで次の授業でそのポイントを活かそうとする児童の姿が見られたことといった成果が得られた。一方で、全体的に運動の行い方の指導が多くなってしまったこと、児童同士で運動のポイントについて考えあう場面の設定が出来なかったことが課題であった。

質疑概要

- ① 体力が高められたことを児童に分かりやすくするためには？
→スポーツテストでやった反復横跳びを、学習後にもう1回やってもらった。ほとんどの児童の記録が上がっていた。
- ② 運動に苦手意識をもつ児童に対してどのように意欲を高めさせたか？
→休み時間も取り組めることで、児童同士で声を掛け、取り組む機会が増えていた。また、動きのポイントを掲示物で丁寧に伝えたのが良かった。
- ③ たくさんある「体力を高める運動」の中から、実践に取り入れた運動を選んだのはなぜか。
→「休み時間にも出来るもの」を重要視した。また、児童の実態と環境を見て、最適であると判断したものを選んだ。
- ④ 発展性として、どのようなことを考えているか。
→体力を高める運動を理解した上で、今度は児童が考えて組み合わせて実践させることを考えている。
- ⑤ 体力を高める運動は、どの時期に指導するのが妥当であると考えられるか。
→5年生であればスポーツテストより後、暑い時期を避けた2、3学期の間が妥当であると考えられる。
- ⑥ 児童は、今回の実践以前の学年で体力を高める運動を経験してきているか？また、他のクラスにもこの実践を投げかけたのか？
→経験はしてきていない。他のクラスにも投げかけていないが、休み時間に取り組んでいるのを見て同じように休み時間に取り組んでいる他のクラスの児童はいた。年間指導計画を整え、系統立てて指導出来ればより良い実践になると思う。
- ⑦ 学習カードの中で、自分がどう思ったかの振り返りをする欄はあったのか。
→言葉では書かせていない。楽しく取り組めたのかを問う欄を作った。意欲を持続させるのが大変だった。こちらがこんなことも取り組ませたい、でも意欲も持続させたいという思いの中で葛藤があった。

研究協議概要

- ① 体力を高める運動についての、各校の情報交換
- ② じゃんけんすごろくの内容を考える。

研究協議は、参加者を5グループに分け、話し合いを行った。じゃんけんすごろくの内容を考えるということについては、次のような意見が出た。

◆体の柔らかさを高める運動

- ・リンボーダンスなどの、体を反らせる動き
- ・ねじり歩き
- ・ブラジル体操
- ・肩回し
- ・歩きながら、つま先タッチ
- ・新聞紙を丸めた棒を使ったストレッチ

◆力強さを高める運動

- ・動物歩き
- ・おんぶじゃんけん
- ・カエルの足打ち

◆巧みな動きを高める運動

- ・平均台
- ・川とび
- ・ボール2つを使ったお手玉
- ・風船を投げる
- ・フラフープを使って跳ぶ

◆その他として

- ・運動を持続させる力として、ケンステップ
- ・背中合わせで立つ

まとめ概要

- ・4年生までに多様な動きを経験させ、5、6年生で巧みな動き・体の柔らかさを高める運動を経験させてほしい。
- ・体育の指導をトレーニング化してしまうのではなく、動く楽しさ・分かる楽しさ・伸びる楽しさ・関わる楽しさを大事にし、自己肯定感をもたせてあげてほしい。
- ・体づくり運動は、ある程度まとまった時間数を確保しなければならず、体育館の連続使用をしていきたい所である。そのために、学校内で共通理解を図り環境を整えることも必要である。学年ごとの年間カリキュラムを工夫すればできないことではない。
- ・全校集会などの、学校行事に体づくり運動を取り入れるのも良い。
- ・スポーツテストは、関連した内容の時にやると良い。自分の体力を知り、また、体力の高まりを実感させてあげてほしい。
- ・体づくり運動は、取り組みにくさから敬遠されてしまいがちな領域だが、これを機会に各学校に、より一層広めていってもらいたい。